



▲根やカジメ帯も多いのでタナ取りがカギとなる

★レンタルタックルでカワハギ初挑戦の青年が当日最大27センチをキャッチ



相模湾のカワハギシーズイン 腰越沖は数より型狙いの滑り出し

相模湾腰越港出船

撮影・訓覇啓雄



▶江ノ島を近くに望むロケーションもよい釣り場
▼エサ取りの猛攻に苦戦しながら、ようやく掛けた1枚



▲9月中旬の取材日は良型が目立った



▲水深10メートル台の浅場では引きの強さが味わえる



▲腰越港の駐車場は午前5時開門、取材した池田丸の船宿は港の正面

9月中旬あたりから各地でカワハギ乗合を始める船宿が増えてきた。相模湾腰越港からの出船では20〜25センチ級をトップ10枚台で推移し、数より型狙いの様相。江ノ島・腰越沖の水深12〜30メートルの根周りがポイントとなり、フグやベラなどのエサ取りが多いため50〜100センチほど底を切り、たんに宙を狙うのも一手。
度重なる台風の影響で底荒れもありまだまだ満足できる釣況ではないが、もともと魚影の濃い釣り場、海が落ち着き水温が下がってくれば数もまとまるはずで、本格化はこれからだろう。
(詳細は58ページ参照)



●相模湾腰越港・池田丸
遠藤 政嗣船長